平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 067	**提案機関名**	かながわ西湘農業協同組合

要望問題名

いちごにおけるさがみ粒土に替わる育苗培土

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

近年、伊勢原産さがみ粒土の供給力が落ちてきている中、相模原産新さがみ粒土での生育障害を懸念して、与作やベリーぐっ土のみならず単価が安く手に入る培土を研究検討していただきたい。

解決希望年限	①1年以内　[②2～3年以内]　③4～5年以内　④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	[①農業技術センター]　②畜産技術所　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	野菜作物研究部

対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 [④実施済] ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名 （①、②、④の場合）

地産地消に適した園芸作物の新品種選定及び栽培技術の確立

園芸作物等の栽培技術に関する研究開発

対応の内容等

当所では伊勢原産のさがみ粒土の代替培土として相模原産の加圧脱水ケーキを用いた育苗試験に取り組んできました。加圧脱水ケーキはさがみ粒土と同様に凝集剤にアルミニウムを使用しているため、リン酸が固定されて生理障害を起こす可能性があります。これまでの試験では、加圧脱水ケーキにリン酸肥料を施用することで、生理障害を起こさずに正常に生育することを明らかにしました。イチゴ育苗に用いる場合、リン酸肥料は市販床土である与作 V1 号やベリーぐっ土よりも単価が安く、経営的に利用しやすいと考えられますので、得られた成果を活用していただきますようよろしくお願いします。

なお、福島第1原子力発電所の事故発生に伴い、浄水汚泥から放射性物質が検出されたことから、現在、相模粒土についても使用自粛となっております。

解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備　考	